

## 戦争法廃止法案

### 自公が審議拒否

自民党の谷垣禎一、公明党の井上義久両幹事長は30日、東京都内で会談し、日本共産党、旧民主・維新両党（合流し現「民進党」）、生活の党、社民党の5野党が2月に提出した安保法制（戦争法）廃止法案について、国会審議に応じない方針で一致しました。戦争法

について、成立後も「丁寧な説明に努めていく」としてきた安倍晋三首相の言明とも矛盾します。一方で谷垣、井上両氏は、戦争法に賛成した新党改革など一部「野党」と自衛隊活動に対する国会関与の強化に向けた政党間協議を進めることを確認し

ました。

自民党は、戦争法は衆参両院で計216時間審議し、参院で一部「野党」も賛成したなどとして、廃止法案の審議を拒否する考えを示し、公明党も了承しました。

自公両党は、環太平洋連携協定（TPP）承認案と関連法案について、4月5日の衆院本会議で審議入りすることを踏まえ、早期の成立を目指す考えでも一致しました。